

# 学校関係者評価報告書

学校法人 麻生塾  
麻生外語観光&製菓専門学校

## 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針 .....	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況 .....	- 4 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法 .....	- 4 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方 .....	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について .....	- 4 -
2. 基準項目について .....	- 5 -

## I. 学校関係者評価の概要と実施状況

### 1. 学校関係者評価の目的と基本方針

#### 1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生外語観光&製菓専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

#### 2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

### 2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
業界関係者	中村 仁美	ANA 福岡空港株式会社 旅客サービス部旅客サービス課 マネージャー
業界関係者	尾本 聰	ANA 福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 マネージャー
業界関係者	大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
業界関係者	柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
業界関係者	松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
業界関係者	鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長
高 校	甲斐 直樹	福岡県立嘉徳東高等学校 校長
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	堀部 豊和	トラベル科 卒業生
保護者	溝口 敦子	ホテル・リゾート科2年 保護者

※区分別、五十音順、敬称略

### 3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2020年9月15日（火）14：30～16：20

場 所：麻生塾福岡キャンパス 8号館 5階851教室

### 4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2018年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

### 5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2019年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- （1）自己評価結果の内容が適切かどうか
- （2）今後の解決方向が適切かどうか
- （3）学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- （4）その他、学校の運営に関する助言

## II. 学校関係者評価委員会報告

### 1. 重点項目について

#### 基準2 学校運営

・事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか。

#### 基準3 教育活動

・授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法の改善を図るための取り組みを行っているか。

・教員の専門性や指導力等の維持、資質向上のための方策を組織的、多面的に実施し、教職員及び組織の改善につなげているか

・教員に対して、実務に関する研修等を企業等と連携して行っているか。

#### 基準4 学修成果

・資格取得率・資格試験および公務員合格率・コンテストおよびコンペ入選の向上と取り組みの成果を上げているか。また結果を分析し、教育活動および学生支援の改善を図っているか。

#### 基準7 学生募集

募集活動において、教育成果は正確に伝えているか。

## 2. 基準項目について

### 基準 1 教育理念、目的、育成人材像

学校関係者評価結果： 適正

#### (取組状況)

教育理念（法人・学校）、教育目標、育成人材像をホームページ等で各ステークホルダーへ周知を務めているが、在学生に対する周知が十分ではなかった点を反省し、全学生に配布する学生便覧の冒頭で紹介している。また、今期は新型コロナウイルスの感染対策で毎日の全職員朝礼を休止しており、教育理念を唱和する機会がなくなり、新任教職員への浸透が課題である。

#### (委員会からの意見)

高等学校関係者によると、FAX・封筒のヘッダーに教育理念を記載している事例はあるが、会議等での教職員の唱和は見たことがない。生徒には校歌を歌うなどで、教育理念を共有している。

#### (改善)

在学生に対しては、学生便覧の利用の都度、反復して浸透を図っていく。

### 基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適正

#### (取組状況)

教員は前期・後期の間、夏・春休み等で計画的に研修計画を組みやすいが、今期は新型コロナウイルスの感染予防のため、外部研修参加を中断している。事務職員も同様であるが、下期には外部団体等による有益な研修（留学生管理、学生募集等）が組まれた時点で研修を受講する計画である。

#### (委員会からの意見)

専門的な知識を身に付けるため適切な研修や勉強会を計画していると評価頂くと共に、教職員の成長が学生の成長に結びつくように教職員の意欲の更なる向上に向けて、研修内容の情報共有が必要とのご意見を頂戴した。

#### (改善)

参加者が得た知識等の横展開を目指し、研修後の報告書は麻生塾ネットワークの共有フォルダに収載させることを徹底する。

### 基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適正

#### ■授業の評価を適切に行っているか

#### (取組状況)

各期にミニアンケートと、授業アンケートの2種類を全科目で実施している。

ミニアンケートは、授業開始後2週間経過後、授業の進捗が適切であるか確認するために実施している。声の大きさ・話すスピード・板書の仕方を4段階で学生の理解度を確認する。結果をもとに、その後の授業運営の改善している。

また授業アンケートは、各期の終了間際に質問項目を増やし実施している。授業全体を相対的に評価できるような項目ごとに分析している。結果は上長経由で各教員へフィードバックを行い、来期授業運営の改善に役立っている。

(改善)

学生からヒアリングは、アンケートが無記名であることから現時点で実施は難しいが、アンケートの取り方や質問項目を見直す等検討していきたい。また授業目標の結果に対する満足度評価は、各授業で振り返りを行っていたが、今後は授業アンケート項目として検討していきたい。

■教育体制の整備と能力開発のための資質向上の取組みを行っているか。

(取組状況)

教員の専門性や指導力等の維持、資質向上のために全専研の研修に組織的、多面的に参加しているが、研修内容を学内で横展開できる機会が少なく、学んだことを広く共有することが難しい。

(委員からの意見)

研修報告書の回覧、張り出し等してみたはどうか。今年度ニューオータニ様ではホテルに特化した模擬テストを全員に実施した。教員も資格試験に挑戦させてみてはどうか。

(改善)

研修報告書を学内で共有できるようにする。また研修によっては、学んだことを後日学内で展開する予定で参加してもらうようにする。

#### 基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

各学科、目標検定の合格率向上に取り組んでいる。結果は検定結果報告書を提出しているが、検定対策授業振り返りレポートが作成されていない検定もあり、分析が不十分なままになっている。

(委員会からの意見)

国家試験など年一回実施の検定試験は、シラバスにも影響するのでより一層分析を行う必要がある。またオンラインにより今後資格取得が変化すると思うので、今後の動向に注意が必要になる。

(改善)

検定結果分析は、検定対策授業振り返りレポートの提出を徹底させる。その際、次の授業計画の改善につながる具体的対策を検討する。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

担任として学生とのガイダンスを行っている。学習面、就職進路面だけでなく、生活面にも相談に乗るなど留学生や心のケアが必要な学生など多様化する学生との信頼関係の構築に努めている。

留学生には国際交流センター、心のケアが必要な学生にはキャンパスライフサポートセンター、就職指導はキャリアサポートセンターなどの就職部など、担任以外にも対応できる専門の担当が多く、多くの場面でサポートしている。

(委員会からの意見)

学生とのコミュニケーションが大切なので、職員からの声掛けを引き続きお願いしたいとの意見を頂いた。

(改善)

留学生担任会議などの実施により、増加する留学生の指導に役立つ情報の共有を積極的に図っている。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適合

(取組状況)

法令に則った定期点検の実施により、必要な補修や修繕がなされている整った教育環境を実現できている。また実習や海外研修など外語には欠かせないカリキュラムも各学科とも実施できている。

(委員会からの意見)

オンライン化促進のためIT環境の充実が必要であるとの意見を頂いた。

(改善)

教育課程編成委員会で各分野の委員からの意見をもとに内容のさらなる充実を図っている。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

学校のアドミッションポリシーは募集要項、HP、学生便覧にて公開。募集活動は統一の入試マニュアルに沿って、公正かつ適切な選考を実施している。また、学生納付金等は毎年、検証を実施し、他の専門学校と比較しても妥当性のある範囲内の金額設定としている。

(委員会からの意見)

(改善)

最新情報を発信できる仕組みを検討し、次年度は改善できるよう関連他部署との協議を継続。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

経理グループとの毎月の予算執行状況の共有や必要に応じた法人内での協議、検討をもって適切な管理を行っている。監査報告書も含め、貸借対照表、収支計算書など財務諸表等を麻生塾の情報公開サイトにて、適切に公開。

(委員会からの意見)

(改善)

特になし

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

各関係法令に基づき策定された学内諸規定のもと学校運営をしており、改定、変更があった場合は確実な整備と職員への周知徹底を継続。また、法人本部による研修等により、遵守意識と法令知識の醸成を行っている。

(委員会からの意見)

(改善)

特になし

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

定期的に第三者監査である自己点検・評価活動を実施、評価結果に基づき改善計画を策定、実行し内部質保証を担保している。

(委員からの意見)

教育の質の担保、内部の質保証は学校法人として学校運営の向上、強化を図る上で重要と捉え、積極的に情報公開に努めていただきたいというご意見があった。

(改善)

自己点検・評価活動は、教職員がその意義・目的を十分に認識・共有し、教育活動をはじめとする諸活動全般の質的向上のために、自律的かつ真摯に取り組むことが求められる。そのため今後は一部の教職員だけではなく、全職員が同じ目線で自己点検・評価活動に取り組めるような体制作りを行う。活動の意義や必要性について全職員が理解を深めるために活動内容報告を適宜実施し横断的に活動の浸透を図る。

基準 11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

共生社会の視点、また学校教育内容の特色を踏まえたボランティア活動を積極的に推進している。実施例として発展途上国への物資支援活動、地元社会福祉協議会への奉仕活動、国連児童基金への寄付等の取り組みを説明し、内容の共有を行った。

(委員からの意見)

企業が実施している CSR 活動についての内容を共有していただく。また本校取り組み内容についても学生の自己肯定感・存在感等を育むうえでも有意義であるため今後の取り組みにも期待したいという高い評価をいただいた。

(改善)

対立や分断を生まない社会を形成する一員であると認識する上でも社会貢献活動は学生にとって非常に有意義な機会であるため、コロナ禍における新たなボランティアの在り方を探り、ボランティア活動の基本精神である公共性、自発性、先駆性を醸成する機会拡充に取り組んでいく。



基準12 国際交流

学校関係者評価結果： 適正

(取組状況)

学校として留学生の受け入れを奨励し、留学生の生活支援・査証手続き・在席管理等は法令を遵守し適切に専門部署が対応している。また日本人学生の海外派遣についても専門部署が中心となり留学中の安全管理、派遣先の教育の質の担保、学生や保護者への説明責任を果たしている。

(委員からの意見)

少子化に伴い日本人若年層が減少し、留学生受け入れと労働人口増が重要課題となるため今後も留学生受け入れと教育に力を入れてほしいとのご意見をいただいた。

(改善)

受け入れ留学生の国籍や能力の多様化に伴い、日本語教育力の向上や日本的価値観醸成が更に必要となる。今後も専門部署との連携を図りながら包括的な支援を行える体制強化に努めていく。